



地方の

ワンコイン路上占い師が

わずか2年で

占い館オーナーになるには

- 占いの最小公倍数 ●

脇田 尚揮

占い館セレーネ 代表





# はしがき



今回この著書を執筆するに至ったきっかけは、私自身が地元・鹿児島で路上占いをスタートしてからちょうど5年が経とうとしていることにあります。その節目として皆さんに占いビジネスとは何かということを知ってもらいたく筆をとりました。

当時の私は、占い師として右も左も分からず、ましてや他にアルバイトの経験も無かったので経営なんて素人もいいところでした。そんな私が2010年10月に鹿児島でサロンをオープンし、2013年4月に上京、2015年7月に東京は池袋で占い館のオーナーになることができました。

「運」ももちろんあるとは思いますが、振り返ってみると最短でここまで駆け上がることができたのには、何かしらの法則・原因があるのではないかと思います、それらを洗い出して一冊の本に仕上げました。この書籍は、これから占い師を目指す人、占い師としてプロフェッショナルになりたい人、そしてビジネス思考を学びたい方向けに制作しております。

せんえつではありますが、私はこの著書で少しでも占いビジネスで成功するためのメソッドを皆さんにお伝えしたいと考えています。本書には初級ではありますが、占星術・タロット・手相についても解説してありますので、占いを勉強したい方にもオススメの一冊かもしれません。

乱筆・乱文ではありますが、どうぞ最後までお付き合いいただければ幸いです。

# 目次

はしがき

第1章 エピソード	7
～とある占い師の物語（実話）	8

## <メソッド編>

第2章 占いビジネスとは	27
☆占いビジネスは今こそ選ぶべき職業	28
始める上でノーリスク・ハイリターンである 占いの基本とは／占いビジネスの方向性	
☆いざ独立して売れる占い師になるには	36
セルフプロデュース／まずは副業として月10万円超えること 月に50万円稼ぐには／年収1,000万を超えるには	
第3章 売れる占い師としての鑑定実践	49
☆コンセプトはドラマチック	50
☆いい占い・悪い占いて何？	53
☆占い師として知っておいてほしいこと	55

## <テクニック編>

第4章 ドラッカー的占いビジネスのあり方	57
☆マネジメント編	59
☆ビジネススタイル編	61
☆マーケティング編	64
☆エグゼクティブ編	67
☆チームワーク編	73
☆サクセス編	74

## 第5章 占いビジネスを成功させるための心理テクニック……………79

- 思いのままに人を動かす心理術／売上がアップする心理術
- イエスと言わせる心理術／良好な対人関係を構築する心理術
- 自分に好意的に事を運ぶ心理術／相手の印象を操る心理術
- 1のものを100に見せる錯覚心理術
- 自己暗示で勝ち組になる心理術／お客様を惹きつける心理術
- 相手を分析するための心理術／相手の心を導く心理術
- ストレスフリーになるための心理術／自分を変身させる心理術

## <スタディ編>

第6章 <命>西洋占星術……………	101
☆西洋占星術初級編で扱うテーマ……………	102
☆占星術はどんな風に役に立つもの？……………	102
☆生まれた時刻が重要なのはなぜ？……………	103
☆「ホロスコープ」とは？……………	104
☆占星術に出てくる「惑星」とは？……………	105
☆「ハウス」とは何でしょう？……………	105
☆「アスペクト」とは？……………	106
☆12星座をセックスとエレメントとクオリティでみる……………	106
☆12星座の性格……………	116
☆12星座の恋愛運……………	120
☆12星座の仕事運……………	126
☆12星座の健康運……………	132
☆12星座の簡単な相性……………	135
☆12星座の恋愛相性とセックス……………	136

第7章 <ト>タロット	141
☆タロットの歴史	142
☆タロットカードを購入する	142
☆タロット占いの手順	143
☆タロットの展開法	145
☆タロットカードについて	148
☆タロットの正位置・逆位置	148
☆タロットカードの意味	150
☆覚えておくこと	175
第8章 <相>手相占い	177
☆手相占いとは	178
☆手相占いの基本33種	178
☆左手・右手	179
<基本10種>	180
生命線／感情線／運命線／火星線／印象線／太陽線	
知能線／二重知能線／結婚線／財運線	
<応用23種>	193
人気線／金星帯／直感線／向上線／反抗線／希望線	
寵愛線／隠徳線／仕事線／享楽線／マスカケ線／	
悲哀線／気付き線／旅行線／引き立て線／パートナー線	
ユーモア線／フィッシュ／十字線／仏眼相／太陽環	
三喜紋／ソロモン環	
☆指の持つ意味	217

# 第1章



# エピソード



今回はせんえつながら

私がこの占いという仕事をするに至ったきっかけと、  
そこに至る「過程」、そして「挫折」と「喜び」について



## ✿ とある占い師の物語 (実話)



として、少しお話しさせていただければと思います。

もし宜しければ、  
最後までお付き合いくださいね☆

## ☆ 占いとの出会い

私はいわゆる靈感があるとか、見える、など  
特殊な能力など持たない普通の子供でした。

そのため、特に占いにも興味を持ってはいませんでした。

しかし、高校三年生の夏、  
占いと出会ってしまうのでした。

当時私は、学内でも比較的成績は良かったので、  
あまり進学のことでも悩むことはありませんでした。



しかし、私も思春期真っ只中。  
恋をしていて、勉強も手につかないような時期もあったのです。

そこで思わず手にとったのが、

\*\*\*\*\*

## 【占いの本】

\*\*\*\*\*

でした。

今では、誰の何という名前の本であったか  
覚えていないのですが……。

それからというもの、毎日、好きな子との相性や  
自分の恋愛運を占っているうちにどハマリしてしまい、  
結局、学業がおろそかになり、浪人してしまうハメに。

もちろん恋もうまくいきませんでした。

根がオタクなので、それ以降も興味を持って勉強している内に、  
人間の深層心理についてとても関心を持ち始めました。

その結果、大学は地元鹿児島の人文学科心理学コースに  
進学することにしたのです。



## 運命の日

そして、運命の日がやってきます……。

入学後、初めての学園祭で出し物をしなければなりません。  
私たち心理学コースでは、毎年、占いが出し物でした。

けれど、当時は占いのできる生徒がおらず、  
コンピューター占いで鑑定していたのです。

今年も、コンピューターでやると決まりかけたその時、

思わず

\*\*\*\*\*

**「私が占えます」**

\*\*\*\*\*

と、挙手をしてしまったのです！

これが今後、私の人生を大きく変えることになります。

当時、私は簡単な占星術（星占い）をマスターしていたので、  
1人100円で5分程度鑑定して、  
簡単なおみくじのようなものを渡していました。

そうこうする内に、私が鑑定させてもらったカップルがくっついちゃう！ 何てことが学内で噂になり、

翌年、その翌年も学園祭に占い師として参加し、のべ400人の方々を観させていただいたのです！

これは私にとって、とてもセンセーショナルな出来事でした。

だって、自分の言葉がお金になるのですから……。

たとえ100円と言えど、立派な対価。

当時、実家から大学まで片道2時間半通学にかかっていた私は、アルバイトをする時間的余裕がなかったのです。

- ★ 「人から喜んでもらえた嬉しさ……」
- ★ 「初めてお金をいただけた喜び……」
- ★ 「自分の言葉で人生が変わるかも知れない恐れ……」
- ★ 「得意分野で認められたことの誇り……」

さまざまな感情が私の心の中に生まれました。



## 大きな挫折

その後私は、20歳からの夢であった弁護士を目指して、法科大学院に進学し、しばらく占いとは無縁の生活を送っていました。

7年間に渡る勉強漬けの日々……。

けれど、自分の心の中には、占い師としてやっていた時ほどの「熱さ」は無かったかもしれません。

結局、7回トライした司法試験に受からず、そのまま公務員試験に流れることに。

結局、市役所の職員に合格しました。

しかし、その時にはもうすでに、私の心の中には

\*\*\*\*\*

**「占い師としてやっていきたい！」**

\*\*\*\*\*

という思いが強くありました。

そこで、親の反対を押し切って、

半ば「勘当」のような形で家を飛び出し、鹿児島で占いサロンを開こうと決意したのでした。

当時の親の心情からすると、とても残念に思ったことでしょう。

弁護士になると言っていた一人息子が、  
夢やぶれ公務員を蹴って

占い師になると言い出すのですから……。

そして、大学院時代の友人も離れていきました。  
中には「恥を知れ！」と怒鳴ってくれた友人もいます。

しかし私は、半年で結果を出して、  
親や友人を説得するくらいのもりで  
単身、占い業を始めました。



## 占い師としてのデビュー

---

私は、占い師は独立したての頃は、  
専業で食べていくことはできないと聞いていました。

大抵の人は、占いスクールに通うか、先生につくか、  
占いの館などに属した後、独立するからです。

しかし、私の場合、半年と決めて動き始めたので、  
そんな悠長なことはできませんでした。

資金は30万円。

これが尽きたらおしまいです……。

私の場合は独学でやってきたので、ある程度の自信はありましたが、それでも不安でいっぱいの日々でした。

いつサロンが潰れてもおかしくありません。

そこで、天文館という鹿児島のアーケード街で、路上占いを週末だけやってみました。

すると……

全く告知なしで「20人もの長蛇の列」ができてしまったのです！

もちろん料金は「10分500円」というワンコインのお手軽さによるものかもしれません。

それでも、100円の学生時代を経験している私にとっては、これ以上ない喜びでした！

結局3時間で1万円を稼ぎ、私の中にはひとつの確信が芽生えました。

\*\*\*\*\*

「これはいける！」

\*\*\*\*\*

という確信です。

その後、サロンも無事にオープンし、  
私の占い師としての人生が

\*\*\*\*\*

2010年10月24日

\*\*\*\*\*

にスタートしたのです。



恐れと克服、そして……

それから、サロンをオープンしたものの、  
当初は全く人が入らず、オープン1ヵ月後の売上は

なんと!!!

\*\*\*\*\*

「3,500円」

\*\*\*\*\*

でした。

路上だったからうまくいったものの、  
サロンとなると話は別。

どこの誰かわからない人の所に行くのは、  
女性に限らず誰だって恐ろしいものです。

そこで、思い切ってHPやブログを開設しました。

初めはブログの書き方すらわからない私でしたが、  
助けてくれる友人のお陰でHPのつくり方なども学んでいきました。

しかし、一日あたりの訪問者数は  
6人や9人とかなり少なく……

そこで、とにかくHPに人を呼ぼう！ ということになり、  
自分の顔写真や本名、プロフィールを思い切って出しました。

みんなにちゃんと真剣に占い師としてやっているということを  
信頼して欲しかったからです。

そして、占いの記事も書きました。

- ★ 「12星座別恋愛運」 から
- ★ 「12星座別おでん」
- ★ 「12星座別ヘアスタイル」 etc.....



なんでも良いから、とにかく書きまくった記憶があります。

オープンして1ヵ月後、

その記事が、なんと東京のライター・力武亜矢さんの目にとまり、

---

◎マイスピ (現Glitty)

➔ <http://www.glitty.jp/>

---

という占い総合サイトに掲載されることになったのです。

今でも忘れないその記事のタイトルは

\*\*\*\*\*

**「2011年LOVE運強化占い」**

\*\*\*\*\*

です。(現在も掲載されてあります)

それを皮切りに、HPに100人以上もの人が集まるようになり、  
お客様も口コミで少しづつ増えて行き、

半年後には鹿児島県の美容雑誌「mio」で  
半期の占いを書かせていただくことになりました。

その本を持って、初めて実家に帰った時の親の表情は……、

今でも忘れられません。

子を思う親の気持ちはこんなに深いものかと、つくづく感じました。



## 鹿児島を制し……東京へ飛翔

その後、さらに半年経って、鹿児島県の情報誌「TJカゴシマ」にて毎月の占いを監修するようになり、TV局のオファーも来ました。

そして産経新聞や他のテレビ局にも出演し、サロンオープンして2年で鹿児島全局を制覇しました。

実質、鹿児島でナンバーワンの若手占い師として活動していたと思います。

その間、ここには書ききれないくらいのドラマがあるのですが、それはまた別の機会に……。

そして、運命が変わった第二のきっかけ……

\*\*\*\*\*

### 「占いアプリの監修」

\*\*\*\*\*

です。

ある日突然……、

東京のアプリ会社さんから連絡が来て、

「先生のアプリを制作しませんか？」

とお声がかかったのです。

私ははじめ、

「ああ、有料なんですよね？

私は広告には一切お金をかけない方針なので……」

と、お断りしたところ……、

「いいえ、無料です。

それどころか監修の費用をこちらがお支払いします」

と言われました。

ビックリしたのですが、

ひとまず落ち着いて中身のロジックや占いを作り、  
先方にデータを渡しました。

そのことを忘れかけていた2ヵ月後……

先方さんから連絡がありました。

「脇田先生！ 先生のアプリが  
100万人ダウンロードされました！」

「しかも、日テレ『Pon!』やTBS『王様のブランチ』でも  
紹介されています！」

……私は、目がテンでした。  
(冗談ではなく、本当にテンだったと思います。)

それをきっかけに、勢いのあるまま自費で書籍を一冊書いて、  
東京へ上京したのでした。

自分の本200冊と17万円を握り締め……。



## 花の都・東京……ではなかった

私はひとまずサロンを構えようと思い、  
住居兼サロンという形で探しました。

私は風水ができたので、明治神宮の気脈と246通りの気脈の流れる  
「表参道」がベストだと思い、

そこを見てみると……、

\*\*\*\*\*

### 鹿児島の家賃の3倍くらいの値段

\*\*\*\*\*